

手ぶらキャンプ

新たな自然の楽しみ方



6月から始まった「手ぶらキャンプ」。ときわ・鹿公園両キャンプ場で利用できるサービスで、広報あびら6月号でも少しばかり紹介をさせて貰いました。

この事業は、担当課（建設課）の職員で隣のページで紹介している鳥越主事から話を聞いており、広報担当としても、そしてアウトドア好きな身としても「凄く魅力的だね。事業が始まったら、ぜひ取材をして多くの人に知って貰おう」そんな言葉を交わしていました。

しかし、安平町のみならず、全世界的に新型コロナウイルスの影響で行動が制限。当初4月29日というキャンプ場の利用開始日も感染拡大防止の観点から5月30日へ延期となる事態に見舞われましたが、「手ぶらキャンプ」の利用開始となる6月1日にはなんとかオープンすることができました。

ようやくオープンを迎えたキャンプ場に鳥越主事と足を運んだ際、「自由に移動ができるようになれば、家族やおじいちゃん・おばあちゃんに会いに来る人たちが増えるだろう」、「キャンプをしている人で賑わう様子を早く見たいね」と話し、7月1日から放送のあびらチャンネルの番組だけでなく、広報紙においても特集を組むことで話しを進めてきました。

そして、どうすることが町民の方々に手ぶらキャンプの魅力が伝わるのかを考えた結果、「キャンプ場の管理担当と広報担当が一泊してみよう」となり、この特集となったのです。